

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 産業創造課
 担当名: 総務・企画担当
 内線: 3917

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P11	技術開発サポート事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費	
事業期間	令和3年度～ 令和6年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	11 1101	稼げる力の向上 新たな産業の育成と企業誘致の推進	SDGsゴール 9 SDGsターゲット 9-5
1 事業概要 イノベーションにより、県内中小企業の「稼げる力」の向上を図る。 ア ものづくりイノベーション支援センター埼玉 運営事業費 Δ2,500千円 イ 科学技術研究力レベルアップ支援事業 Δ41千円 ウ 次世代ものづくり人材育成事業				5 事業説明 (1) 事業内容 ア ものづくりイノベーション支援センター埼玉運営事業費 41,089千円 現在ある先端産業支援センター埼玉、産学連携支援センター埼玉、知的財産総合支援センター埼玉を統合し、ものづくりイノベーション支援センター埼玉を設置することにより、製造業のイノベーションによる技術開発や製品開発をワンストップでトータルサポートする。 イ 科学技術研究力レベルアップ支援事業 1,154千円 児童・生徒発明創意くふう展の開催や地方発明奨励表彰など、科学技術研究力の底上げによりイノベーションを推進する。 ウ 次世代ものづくり人材育成事業 3,873千円 大学と連携し、次世代ものづくり産業の開発や事業化のための人材を講義や実習を通して育成し、企業の成長を促す。 (2) 事業計画 ア ものづくりイノベーション支援センター埼玉の運営(相談受付、情報提供、マッチング支援、産学連携、知財活用、競争的資金獲得支援、重点4分野に関する対象案件の技術・事業化支援) イ 科学技術・イノベーション会議の開催、埼玉県児童・生徒発明創意くふう展の開催 ウ 大学による先端産業分野を担う人材育成 (3) 事業効果 イノベーションに取り組む事業者を増やすことによる県内の製造業の生み出す付加価値額の増加が図られる。 【活動指標(アウトプット)】コーディネーター配置、相談会やマッチングセミナーの開催 【成果指標(アウトカム)】産学・産産等のマッチング件数300件、外部資金の獲得件数10件 産学・産産連携により新たな製品開発に取り組む事業者数15社 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 埼玉県産業振興公社、国INPIT事業、大学・研究機関、埼玉県発明協会、民間企業 (5) 補正予算の概要 ア ものづくりイノベーション支援センター埼玉の運営事業費 …補助金交付額が見込みを下回ることによる減額 イ 科学技術研究力レベルアップ支援事業 …事務費の節減による減額					
2 事業主体及び負担区分 ア(県10/10)公社0 イ(県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	Δ2,541							Δ2,541	46,116
現計額	48,657							48,657	

事業内訳書

事業名	技術開発サポート事業		
単位事業名	ものづくりイノベーション支援センター埼玉運営事業費	予算額	△ 2,500千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△2,500	—	
合計	△2,500	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△2,500	—	補助金交付額が見込みを下回ることによる減額
合計	△2,500	—	

単位事業名	科学技術研究力レベルアップ支援事業	予算額	△ 41千円
-------	-------------------	-----	--------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△41	—	
合計	△41	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△21	—	事務費の節減による減額
需用費	△9	—	事務費の節減による減額
役務費	△11	—	事務費の節減による減額
合計	△41	—	